

「福祉研修オンデマンド化検討事業」委託事業者選定に係る公募型プロポーザル 質問及び回答

項目	質問内容	回答
仕様書 5 (1) 研修のオンデマンド化に関する検討	「研修センターで行っている 16 コース約 70 研修について、オンデマンド化の検討を行うこと。（＜別紙＞研修内容一覧の通り）」とあるが、その対象研修一覧には「資質研修」が 11 研修 21 コース、「法定研修」が 13 研修 49 コースあり、合計すると 24 研修 70 コースになっている。これについては、数値の違いや「研修」「コース」の文言の用法にかかわらず、要は対象研修一覧にあるすべての研修が対象になる、ということでしょうか。	ご認識の通りです。
仕様書 5 (1) 研修のオンデマンド化に関する検討	「第一の判定結果をもとに、研修企画委員や研修講師等と調整を行い」とあるが、このうち「研修講師」については、それぞれを担当した全講師について、直接折衝し調整を行うことを想定されているか。	講師への直接折衝は、県内福祉事業所に研修企画委員及び講師の依頼を行っている「法定研修」に限ります。「資質研修」については、ほとんどが外部民間研修事業者に講師を委託しているため、直接折衝する必要はありません。
仕様書 5 (2) オンデマンド研修の教材作成のためのマニュアルの構築等	オンデマンド研修の教材作成のためのマニュアル構築につき、資料作成、動画撮影、動画編集等の工程が考えられるが、これらを全て網羅したものとするのか。また求められるマニュアルの量的なイメージ等、求められる「マニュアルの仕様」をどのように考えるか。	資料作成、動画撮影、動画編集等の工程を網羅したものを想定しております。「マニュアルの仕様」については、動画作成の受託事業者が有用な動画を作成する上で必須のポイントを押さえ、最低限の様式や注意点をまとめた、簡潔でわかりやすいものを想定しております。
仕様書 5 (3) オンデマンド化に要する費用の積算等	オンデマンド化に要する費用の積算について、オンデマンド化することで削減できる経費の推計について必要となる講師費用、会場確保費用等、またはその他経費について標準的な金額はどの程度を想定されているか	研修毎で対面研修に係る諸経費も異なるため、現時点で標準的な金額をご提示することができませんが、委託契約後に研修毎に現行の諸経費を提示しますので、オンデマンド化検討の第一段階で、削減できる費用の推計も一緒に行っていただく想定をしております。